

《8月6日(土) 7:00～10:54放送 一文字弥太郎の週末ナチュラルリスト朝ナマ》

原爆資料館に焦点をあて4時間の生放送

被爆71年あなたがヒロシマを忘れるとき

今年の8月6日(土)はリニューアルされる原爆資料館に焦点をあて「被爆71年あなたがヒロシマを忘れるとき」と題して「一文字弥太郎の週末ナチュラルリスト朝ナマ」を放送しました。

番組では被爆者が高齢化し言葉での継承が難しくなっている今、原爆の実相を伝え続けていく、そして我々が感じ続けていくためにはどうすればいいのかを、詩人のアーサー・ビナードさんをゲストに迎えてお送りしました。

番組前半は原爆ドーム付近を歩きながら71年前の今日に思いをはせ、原爆資料館が誕生する経緯や体から取り出されたガラス片を寄贈した被爆者のインタビューで当時を振り返りました。そして、平和記念式典中継終了後の後半は、被爆者から寄贈された数々の遺品や資料を通して、被爆者の声を語り伝えていく、声なき声を後世に残すために努力する学芸員と、被爆体験した最後の原爆資料館館長・原田さんに話を聞きました。

ひとりひとりがヒロシマを忘れないために、原爆資料館に足を運び、感じたことを伝えていく。新しくなる原爆資料館は被爆者が見る最後の展示になります。唯一語り継ぐことのできる施設として、原爆資料館の重要性を改めて考える番組になりました。



■一文字弥太郎、岡佳奈さん、アーサー・ビナードさんの3人で広島朝の原爆ドーム前から中継。



■原爆資料館の新作資料展に展示されている数々の寄贈品や遺品